

平成 24 年度 ドライブレコーダの導入効果に関する調査 (概要版)

(公社)全日本トラック協会及び各都道府県トラック協会では、事故防止対策の一環として、ドライブレコーダの導入費用の一部を、「ドライブレコーダ機器等導入促進助成事業」により助成している。

今後のさらなる普及及び助成の有効活用のため、助成を受けて利用されているドライブレコーダについて、活用状況、効果及び利用上の問題点や課題などを明らかにする必要がある。そのため平成 24 年度の「ドライブレコーダ機器等導入促進助成事業」を活用したトラック協会会員事業者に対してアンケート調査を行った。

I. 調査内容

1. 調査対象

平成 24 年度に助成事業を利用し、ドライブレコーダを導入した会員事業者

2. 調査項目

- (1) 導入したドライブレコーダの導入状況、導入目的／理由
- (2) 現在使用しているドライブレコーダの活用状況
- (3) ドライブレコーダ導入の効果
- (4) 現在使用しているドライブレコーダの問題点、課題

3. 回収状況

都道府県トラック協会経由で会員事業者にアンケート用紙を配布、回収

回答事業所数 550 社、597 事業所 (平成 25 年 2 月末回収分までの集計)

Ⅱ. 調査結果の概要

項目		製品タイプ	ドライブレコーダ
延べ回答事業所数			597 事業所
最も多い事業所の規模※			11～20 台 (21.3 %)
ドライブレコーダ装着率	全保有車両に対する装着率		63.5 %
	車両総重量 8 t 以上の車両への装着率		63.2 %
	車両総重量 8 t 未満の車両への装着率		63.9 %
導入目的・理由(※1)	交通事故防止		92.5 %
	安全運転指導		85.9 %
	運転状況の監視・確認		73.9 %
	事故処理の効率化		70.5 %
導入状況(※2)	事業所として初めて		44.6 %
	追加導入		40.2 %
	代替導入		8.2 %
活用状況(※1)	事故が発生したときのみ映像を確認、指導		54.4 %
	ヒヤリハット等問題のある映像を集め、指導あるいは講習会を開催		49.1 %
	定期的に映像を確認、指導		42.7 %
導入効果(※1)	運転者の安全意識が高まった(危険運転減少)		75.5 %
	安全運転指導に活用できた		66.3 %
	事故処理に役立った		35.8 %
事故の減少	－導入前－		1.54 件／月
	－導入後－		0.96 件／月
	－削減率－		約 38 %

※1:アンケート選択肢のうち、主なものを列挙した。

※2:追加導入及び代替導入を重複して行った事業所が含まれる。

(1) 導入状況

事業所に初めてドライブレコーダが導入された時期は、平成 15 年 4 月に導入した事業者が最も早く、その後、ドライブレコーダの導入を行う事業所の数は徐々に増加し、平成 24 年度に急激に増加した。

平成 24 年度に初めてドライブレコーダを導入した事業所は、266 事業所であり、回答のあった事業所の 44.6%を占めた。

(2) 導入目的及び活用状況

ドライブレコーダを導入した主たる目的・理由は、以下の通りであった。

- 交通事故防止 (92.5 %)
- 安全運転指導 (85.9 %)
- 運転状況の監視 (73.9 %)
- 事故処理の効率化 (70.5 %)

ドライブレコーダの活用状況において、96%の事業所が「事故等が発生したときのみ映像を確認、指導」、「ヒヤリハット等問題のある映像を集め指導、講習会等開催」、「定期的に映像等を確認、指導」または「ほぼ運行ごとに映像等を確認、指導」を行うと回答しており、ほとんどの事業所で活用がなされている。

(3) 導入効果

全体の 2/3 の事業所では、ドライブレコーダを導入することにより、運転者の安全意識が高まり、安全運転指導に活用できた(図 1 参照)。

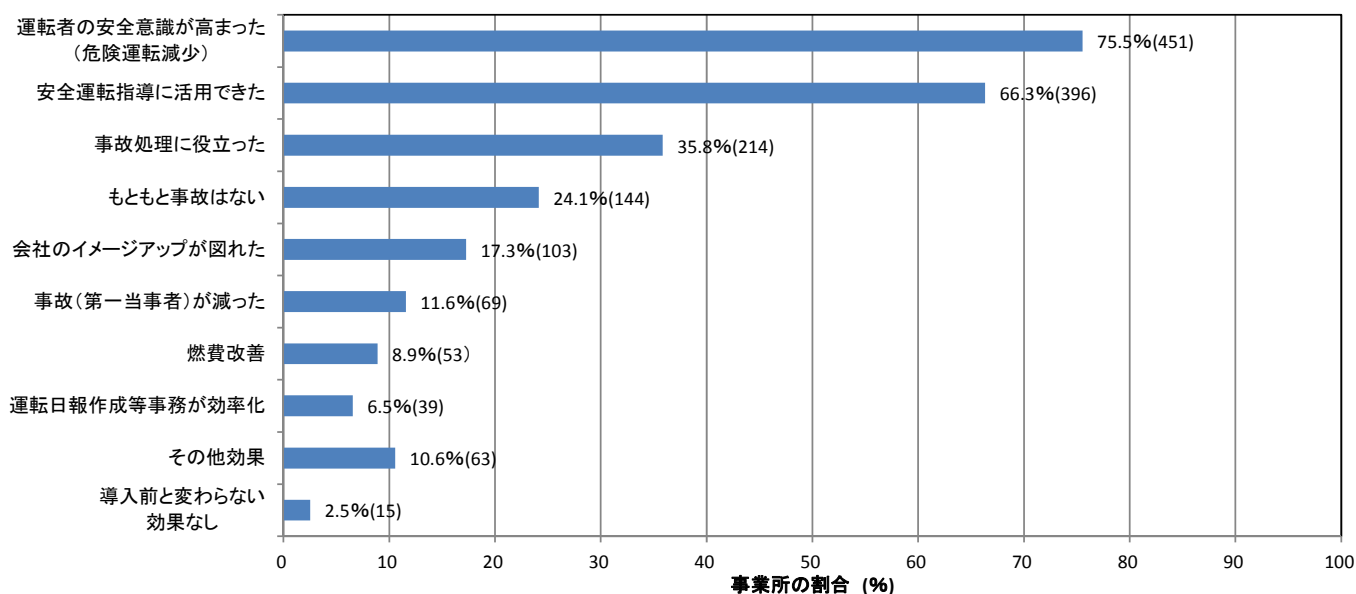


図 1 ドライブレコーダの導入効果 (複数選択可)

ドライブレコーダの導入により、事故(第一当事者)が減ったと回答した事業所は 69 事業所 (11.6%) であり、事故件数(回答数 48)は、導入前に平均 1.54 件/月であったものが、導入後は平均 0.96 件/月に減少(△38%)した(図 2 参照)。

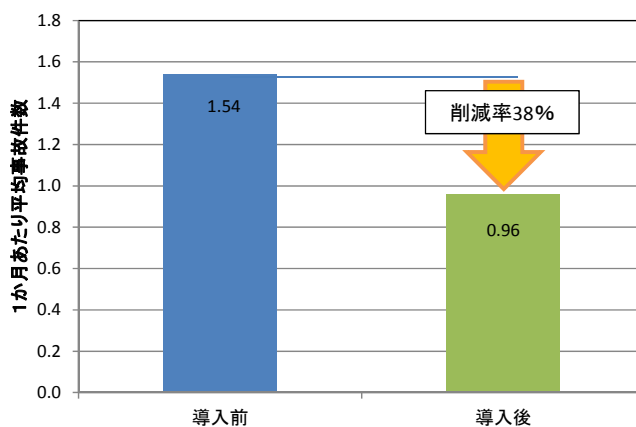


図 2 ドライブレコーダの導入効果 (1 か月あたりの事故削減率)

(4) ドライブレコーダの製品の主な問題点

ドライブレコーダの製品等の主な問題点は、以下の通りであった。

「導入価格が高い」(38.9%)

「無駄な映像が多く、必要な情報を見つけるのに時間がかかる」(28.8%)

「記録された映像が不鮮明」(11.2%) (特に夜間の映像に対する指摘が多い。)

(5) ドライブレコーダ使用上の主な問題点

ドライブレコーダの使用上の主な問題点は、以下の通りであった(図 3)。

「データ管理業務負担増」(36.3%)

「機器の使用法説明、修理等の販売店のフォローが不十分」(13.9%)

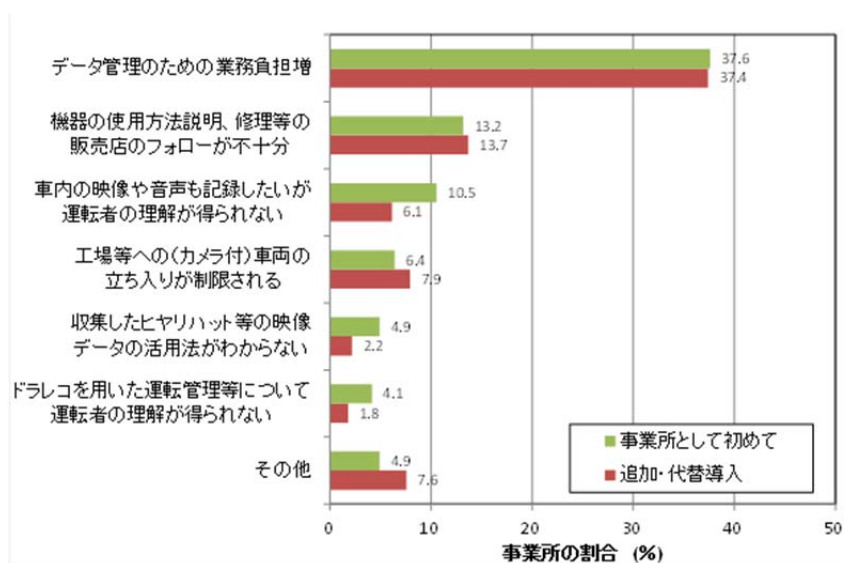


図 3 事業所の導入状況別の使用上の問題点

(6) 課題

調査結果より、今後の更なる普及に向けた課題として、以下の3項目が考えられる。

- ドライブレコーダの価格低減
- 未活用事業者における未活用理由の明確化と活用方策の検討
- データ処理の容易化と業務負担の軽減方策の検討